

令和8年度

認定看護師による健康教室のお知らせ



	開催日	テーマ	内容
第1回	令和8年5月20日(水)	尿もれ対策について	皮膚・排泄ケア特定認定看護師
第2回	令和8年6月17日(水)	知って防ぐ! 今日からできる食中毒予防	感染管理認定看護師
第3回	令和8年7月15日(水)	心臓の推し活! 始めませんか?	慢性心不全看護認定看護師
第4回	令和8年9月30日(水)	がん予防と心のやすめ方	がん性疼痛看護認定看護師 がん化学療法看護認定看護師 緩和ケア認定看護師
第5回	令和8年11月20日(金)	骨の知識をコツコツ増やそう	骨粗鬆症マネージャー
第6回	令和8年12月16日(水)	誤嚥と窒息予防には栄養が大切	摂食・嚥下障害看護認定看護師
第7回	令和9年2月3日(水)	楽しく頭と体を動かそう	認知症看護認定看護師
第8回	令和9年3月3日(水)	知っておきたい血糖値の話	糖尿病看護認定看護師

場所: 稲沢市民病院 2階講堂

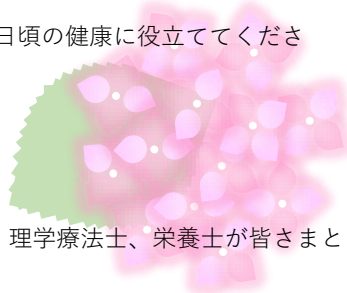
予約不要で、午後2時から3時まで開催します。ぜひ日頃の健康に役立ててください。

令和8年度 出前講座

令和7年度は、出前講座を23回実施し、認定看護師、理学療法士、栄養士が皆さまと健康増進に向けた時間を過ごすことができました。

ホームページをご確認の上、市民病院管理課へお申し込み下さい。

稲沢市民病院管理課 ☎ 0587-32-2111



稲沢市民病院ニュース

発行日 令和8年5月27日

電話 0587-32-2111

発行部数 1000部

Fax 0587-32-2151

発行元 稲沢市民病院 広報委員会

E-mail hospital@city.inazawa.aichi.jp

稲沢市民病院 /

病院 News.

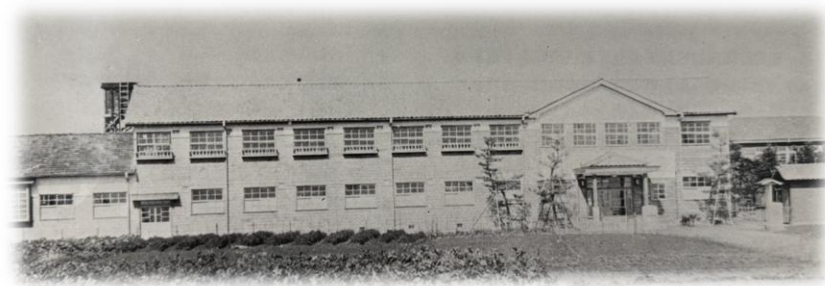
inazawa municipal hospital news



2040年に向けて医療の将来ビジョン



現在の稲沢市民病院 278床



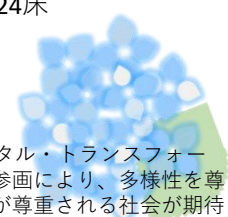
昭和23年開設当時の様子 24床

2040年の社会・医療のすがた

高齢者のさらなる増加、少子化による支え手の減少、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の進展による技術革新が進みます。住民や専門職の参画により、多様性を尊重したインクルーシブなつながりが高まり、その人らしい生き方が尊重される社会が期待されます。

病院は高機能かつ集中的な治療の場として集約され、回復に伴う治療や療養は、在宅や介護施設などの生活の場へ広がっていきます。退院後の生活を見据えた計画性のある支援、地域の多職種との調整、外来における看護師の療養指導や継続的なフォローアップにより治療をしながら、在宅で生活が可能になります。

患者と医師とをつなぐオンライン診療や、治療や療養を支え、「どのように生きたいのか」「どのような医療を受けたいのか」という、その人の意思決定を支援する役割を發揮するために、医療はさらに専門性を高めていきます。



稲沢市民病院 2040年に向けて

地域の急性期医療を担い、人々の生涯を支える取り組み

救急医療の拡大

年間救急車 受け入れ **3,408台**

二次救急病院として24時間、365日 救急患者の受け入れを行っています。
2025年には、3,408台の救急車を受け入れました。

健診センターの充実

DWIBS（ドゥイブス）導入

病気の早期発見、早期治療は重要です。
2025年に健診センターを拡大し、一日、一泊人間ドック、DWIBS（ドゥイブス）検査など、新たな検査も導入しました。
保健師が人間ドックアドバイザーとしてサポートします。

訪問看護ステーション

『あしたば』への期待

10人の看護師が、24時間365日、在宅で医療的なケアが必要な方の訪問看護を行っています。

がんの終末期、心不全の方への訪問看護の依頼が多くなっています。

私たちは、病気があっても自分らしく生きるを支えます。



地域の急性期医療を担い、

人々の生涯を支える取り組み

地域包括ケア病床 87床

高齢な方は、急性期の入院治療が終わっても「体力が戻らない」「手すりを作るなど家屋の整備が必要」「一人暮らしは無理になった」など、すぐに自宅に戻れない場合が多くあります。
2025年度、地域包括ケア病床を87床へ増床し、日常生活へ向けたりハビリや、外泊練習、介護保険申請など多職種で急性期と在宅をつなぐ退院支援を行っています。

災害拠点病院

2024年に災害拠点病院に指定され、災害時に備えた教育・訓練、人材育成を行っています。
DAMT（災害派遣医療チーム）2チーム、災害支援ナース（厚生労働省医務局登録）6名を配置し、災害時に備えます。



認知症カフェ

毎週火曜日に、老年内科医師、認知症看護認定看護師による「ツナガロカフェ」を2階レストランで開催しています。
ご本人からの相談や、ご家族の対応方法などの相談、認知症の予防を目的に、2025年度は、のべ448人の方が参加されています。

ツナガロカフェ



医療的ケア児の学校看護

市内の学校に看護師を派遣し、医療や支援の必要な子供たちのインクルーシブな教育を支援しています。

質の高い医療人材の育成

人口減少が進み、人間でなくてもよい仕事は、AIやロボットに変わっています。しかし、医療や看護の分野には、私たち人間にしかできない専門的な仕事がたくさんあります。
今から人材を確保し、日々の教育に力を入れ、未来を担う高い知識、技術を備えた質の高い医療人を育成しています。

転倒骨折センター

消化器センター

健康推進のための地域活動

市民病院まつり 市民公開講座 出前講座 健康教室 ACPワークショップ など

医師、薬剤師、栄養士、看護師、理学療法士など多職種で地域に向き、骨密度測定や体操、健康相談など、市民の健康推進のための活動を行っています。
骨密度測定や健康体操は人気の出前講座です。また、ACPの推進は、これから益々重要な活動です。

ナースカーの出動

あなたの相談に出動します。

ナース・カー Nurse Car

- 01 利用者の相談が必須
- 02 緊急時以外に派遣可能な体制です。
- 03 緊急時以外に派遣可能な体制です。
- 04 ナース・カーの役割

ご不明なことやお問い合わせございましたら、稲沢市民病院「入退院支援センター」にお問い合せください。

高齢者施設に入所中の利用者の病状が不安な時に、市民病院の看護師が相談を受け、高齢者施設に向いて病状を判断します。看護師は、病状に応じて救急車に同乗し病院を受診します。
24時間体制でベテラン看護師が対応し、2025年度の相談依頼は213人でした。相談の内容は、「発熱」「息苦しさ」「意識の低下」「骨折・骨折疑い」の順に多く、164人の方が救急搬送後、入院されました。
高齢者施設と連携することで、病気の早期発見、早期治療につながっています。